



軽種馬防疫協議会からのお知らせ

令和2年1月10日
軽種馬防疫協議会 事務局
(JRA 馬事部防疫課)

馬伝染性貧血診断のためのゲル内沈降反応の検査試薬について

馬伝染性貧血 (Equine Infectious Anemia: EIA) は、EIA ウイルスの感染に起因する疾病です。EIA ウイルスに感染した馬は、生涯にわたりウイルスを体内に保持し感染源となり得ることから、血清中の抗体を検出し淘汰する防疫体制が世界標準とされており、日本においても、長年にわたり同様の体制が敷かれております。

本症の抗体検出法として、ゲル内沈降反応 (ゲル沈) が最も有用とされており、国内の動物検疫や清浄性維持の確認のためには必須の検査法です。しかしながら、2018年4月の家畜伝染病予防法施行規則の一部改正により検査規模は縮小し、国内製ゲル沈試薬の消費量が著しく減少したため、現在は市場への供給が不安定となっています。

そのような状況を受けて、馬防疫検討会「馬伝染性貧血診断のためのゲル内沈降反応に関する専門会議」が2019年12月5日に開催され、その場で結論付けられた以下の内容が、馬防疫検討会第18回本会議にて承認されましたので、お知らせいたします。

●海外製ゲル沈試薬 (IDEXX 製、VMRD 製あるいは Zoetis 製^{※1}) の診断精度は国内製 (日生研製^{※2}) のものとほぼ同等である

※1 IDEXX 製 : Equine Infectious Anemia Virus Antibody Test Kit

VMRD 製 : EQUINE INFECTIOUS ANEMIA VIRUS ANTIBODY TEST KIT

Zoetis 製 : Equine Infectious Anemia Virus Antibody Test Kit LAB-EZ®/EIA

※2 日生研製 : 日生研精製伝貧ゲル沈抗原

●国内製ゲル沈試薬の供給が不安定な場合には、上記の海外製ゲル沈試薬により代用し、EIA の日本への侵入防止および日本国内の清浄性の維持確認を安定的に実施すべきである